

バイオガス膜精製装置

バイオマス発酵プラント、下水処理場などより発生するバイオガスを精製し、90%~99%メタンバイオガス燃料として、有効利用する装置です。

バイオガスは有機廃棄物からの発酵、嫌気性消化されたガスで、平均的にメタン55-65%、二酸化炭素30-45%、硫化水素などのガスを含んでいます。

バイオガスより不要なガス成分を取り除き、バイオメタンガスとして利用するには、ガス精製装置が不可欠であり、ガス精製方式には

- ・膜分離
- ・高圧水
- ・PSA

の方式があります。当社では取扱が簡単で、他の分離方法より経済効果が高い膜分離方式を採用致します。

ガス精製装置のコアとなるバイオガス精製膜は、世界に於ける豊富な実績及び、トップクラスの効率を誇るEVONIK社製（ドイツ）SEPURAN® Greenを採用するとともに、信頼性のある国内部品にて精製ユニットとして御提供します。

EVONIK社製 バイオガス精製膜 SEPURAN® Green の特徴

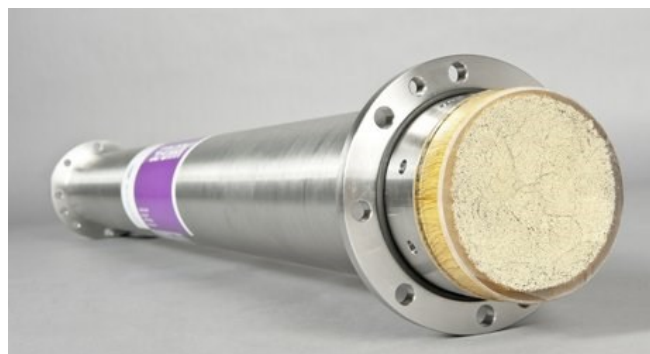
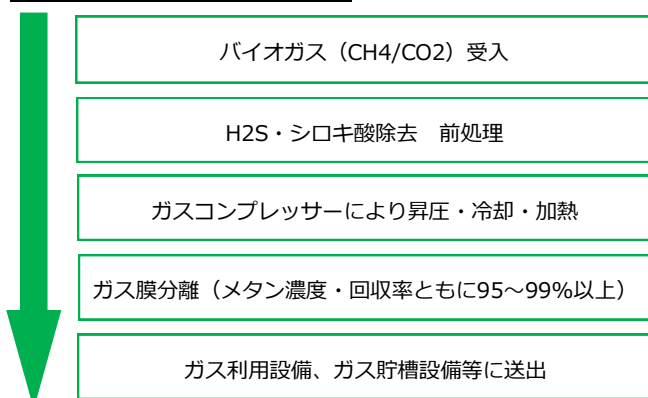
SEPURAN® Greenは、エボニック社独自レシピによるポリマー材料にて製作されたメタンガスと二酸化炭素の分離精製に特化した中空糸膜モジュールです。

2015年にEVONIK社の高い技術力により、従来品と比較し、20%高い分離処理性能及び、省エネ性能を誇る新シリーズがリリースされました。

当社は、EVONIK社の日本法人であるダイセル・エボニック社と業務提携を締結し、装置のエンジニアリング・製作・納入・メンテナンスまでトータルにサポート致します。

- ◇ CH₄/CO₂に特化した非常に高い分離性能 及び 省エネ性能
- ◇ 高いメタン回収率（99%可能）、コンパクトなユニット
- ◇ 薬品不要なプロセスパッケージにて、安価な運転費用
- ◇ 簡単な起動・停止操作及び、全自動連続操作が可能
- ◇ 精製前ガスの組成・流量変化に追従できる高い柔軟性
- ◇ プラントスケールに柔軟に対応

バイオガス膜精製装置の基本フロー



EVONIK社製 バイオガス膜 SEPURAN® Green

